会議録

審 議 会 名	令和５年度　第１回杉戸町地域福祉計画推進協議会
開 催 日 時	令和５年６月 27 日（火）午前 10 時 00 分～11 時 04 分
開 催 場 所	杉戸町役場　文書保存庫 第１会議室
会 議 の 議 題	（１）　第２次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況の報告（令和４年度） （２）取組状況に対する評価（令和４年度） （３）第２次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況の報告（平成 30～令和４年度） （４）第３次杉戸町地域福祉計画策定に関する報告
公開・非公開の別	公開　・　非公開（公開の場合傍聴者数　　１人） （非公開の場合理由）
出席委員氏名	長岡朝子委員、金森孝之委員、大久保佐知子委員、藤田敏男委員 坂巻東洋委員、間宮佐委員、笹川景子委員、末永さやか委員、 濵田明美委員

発言者	審議の概要
	1　開会 2　あいさつ 3　議題 （1）第２次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況の報告（令和４年度） （2）取組状況に対する評価（令和４年度）
事務局	（「（１）第２次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況（令和４年度）の報告」及び「（２）取組状況に対する評価について（令和４年度）」について事務局・町社協より説明があった。） 委員からの質問・意見等は以下の通り。
委員	杉戸町役場の基本施策１―（１）に対する福祉課の取組状況について、自己評価にある通り、相談内容が複合化しており、各課の連携を図らなければ、相談が途中で止まってしまう場合がある。国ではワンストップを奨励し、一つの相談窓口から様々な支援を行えることが理想ではあるが、相談員に求められる能力が多岐にわたり、実情としては難しいことも理解できる。自己評価を「B：要努力」としているが、関係各課との連携の課題等があれば、伺いたい。また子ども家庭庁創設に関連して、町で予定している対応があれば、伺いたい。
事務局	関係各課の横断的な情報共有と対応体制は構築できているため、引き続き取り組みを続けることで重層的支援体制の整備を進め、相談内容の複合化に対応していきたいと思います。重層的支援体制とは、地域共生社会の構築であり、そのためには、属性を問わない相談体制または参加支援、地域づくりに向けた支援の３つを同時に実施していくことが必要であります。 横断的な情報共有と体制は構築できているため、引き続き対応していきます。子ども家庭庁に関しては、現時点で決定していることはなく、今後の動向を見ながら、検討していきたいと思います。

委員	個人的に相談窓口は非常に大事だと考えており、相談窓口の整備は複合化する問題の解決の要所になると考えている。相談、カウンセリングを行う相談員と相談者の間には信頼関係が求められ、相談員のスキルアップも重要だと考えている。町として窓口や相談員についての見解を伺いたい。
事務局	受け側に必要な能力として、相談者と親身になって寄り添い、一緒になって問題を解決していくことが重要であり、そのためには相談者のスキルが必要だと考えております。スキル習得のために研修などで知識を付けていくことが必要だと考えております。
	（３）第２次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況の報告（平成３０～令和４年度）
事務局	（「（３）第 2 次杉戸町地域福祉計画に関する取組状況の報告（平成 30～令和 4 年度）」について事務局・町社協より説明があった。） 報告のみ
	（４）第３次杉戸町地域福祉計画策定に関する報告
事務局	（「（４）第 3 次杉戸町地域福祉計画策定に関する報告」について事務局より説明があった。）
委員	意見等なし
	４　閉会